

UIFA 創立25周年記念

日 時 : 11月27日(日) 10:00~16:00

場 所 : 市民プラザ Wave101 大ホール

内 容 : 第1部:記念式典 10:00~10:30

第2部:記念講演 10:30~12:00

第3部:UIFAまつり 13:00~16:00

記念式典では、徳田会長より 25 年の節目で過去を振り返り、現状を検証し、未来につなげていこうとの挨拶があり、松崎市長、辻田市議会議員より祝辞を頂きました。最後に永年(25 年)会員に感謝状と記念品の贈呈がありました。25 年永年会員は 48 名おり、内 25 名の方が列席されました。



徳田会長



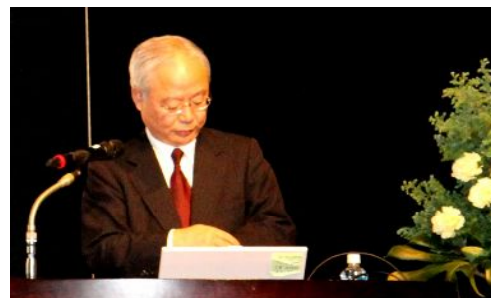
松崎市長



辻田市議会議員



25年永年会員表彰



記念講演 北脇保之氏

記念講演は、元浜松市長の北脇保之氏です。「多文化共生の再考—人口減少する日本と外国人受け入れをめぐる課題—」の演題です。①日本の人口構成からして外国人の受け入れは不可避だが、多文化共生は排他グループの発生、右翼の台頭などの危険を孕んでいることを念頭に進める必要がある、②消極的、受身の多文化共生から、文化的多様性を地域のダイナミズム、成長の契機と捉えた積極的多文化共生が望まれる、③日本語教育、子供の教育、職業訓練、社会保障等を視野に入れた外国人を包括する社会統合政策の必要性等を語られました。国の政策から身近な日本語教室の意義付けまでも含む、非常に有意義な講演でした。式典、講演には 140 人以上が参加し盛会でした。

UIFA まつりはボランティアグループによるパフォーマンスと日本語教室学習者を中心にした出店です。ホールに鳴り響く楽団と華麗な踊り子によるサンバ(エストランジェイロス)にはじまり、可愛い子供達も含めた40名の大部隊のフラダンス(アンクリス・スイート・フラタヒチマンスタジオ)、スリルとスピードのキッズダンス(千鳥藤田ダンススタジオ)、打って変わって滔滔と流れる大河のようにゆっくりとした太極拳(浦安太極拳心和会)、浦安ばやしに始まった盆踊り(浦安婦人の会連合会)では最後は皆輪になって炭坑節を踊りました。ゴスペル(UHゴスペルクワイヤー)は宮原パンダ先生の指導で輪唱もし、フィナーレは見上げてごらん夜の星を皆で歌いました。出店は日本語教室の学習者が主になって行き、故郷から取り寄せた小物、夫々の民族衣装、思い思いの店の消息が祭りの雰囲気盛り上げてくれました。

48名の25年間継続会員、パフォーマンスをして下さった地元のボランティアグループの方々、出店を出してくれた日本語学習者と協力者、延べ数百人の参加者、数十名のお手伝い等、多くの方々に支えられ UIFA 25周年のイベントを無事終えることができました。このご協力、関心を裏切らないようこれからもじっくり、しっかり活動して行く思いを改めて強く感じました。



サンバ(エストランジェイロス)



フラダンス(アンクリス・スイート・フラタヒチマンスタジオ)



キッズダンス(千鳥藤田ダンススタジオ)



太極拳(浦安太極拳心和会)



盆踊り(浦安婦人の会連合会)



ゴスペル(UHゴスペルクワイヤー)

出店風景

